

淀川区教育行政連絡会「中学校の部」議事要旨

日 時 令和2年2月18日（火）10:00～11:30

場 所 淀川区役所 5階 504会議室

出席者 学校長：東三国 宮原 三国 十三 新北野 美津島

区役所：淀川区担当教育次長（区長） 淀川区教育担当部長（副区長）

淀川区教育担当課長 同課長代理 同係長3名 同係員

淀川区役所保健・子育て支援担当課長 同課長代理

傍 聴：0人

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 資料1 | スクールカウンセラー相談事業の周知に関する意見について |
| 資料2-1 | スポーツイベント（ボッチャ等）について |
| 資料2-2 | 令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果 |
| 資料3-2 | 教職員の懲戒処分等について |
| 資料4 | 教育関係会議で出た意見の送付 |
| 資料5 | 令和2年度教育委員会事務局運営方針（案）について |
| 資料6 | 淀川区大志育成プロジェクト学習会（平成31年度の実施状況） |
| 資料7 | 学校協議会委員研修 アンケート結果 |
| 資料8 | 「分権型教育行政」による区内の教育行政に関するアンケート |
| 資料9 | 市政改革に関するアンケート |
| 資料11 | 大阪市こどもサポートネット こどもと子育て世帯の総合支援体制 |

【次第】

司会：淀川区教育担当課長

◎淀川区担当教育次長（区長）あいさつ

◎議題

- 1 スクールカウンセラーの表札について【公開】
 - 2 スポーツイベント（ボッチャ等）の実施について【公開】
 - 4 分権型教育行政にかかる情報提供【公開】
 - 6 こどもサポートネットについて【公開】
- ・各議題について意見交換

議題 1 スクールカウンセラーの表札について

(区より説明)

- ・淀川区子ども教育会議で、「スクールカウンセラーが来ていることがわかる表示が必要ではないか」「わかりやすい形や親しみやすい形でやった方が児童・生徒が行きやすいのではないか」「十三中学校ではほっこりした雰囲気の部屋があり、子どもたちも相談しやすく良いのではないか」「枚方市で【心の教室】というネーミングで子どもや保護者が利用しやすいような運営をされているので、そのような表示を考えてもらってはどうか」といったスクールカウンセラー相談事業に関するご意見があった。
- ・ネーミングや表示に関して校長先生方のご意見をいただければと思う。実際には各中学校でどのような形で表示されているのか。
- ・主に小学校の児童がわかっていないとのこと。表示があった方が行きやすいのかなと思うが、いかがか。

(意見交換)

- スクールカウンセラーの来校日は職員室には掲示しているが、外には掲示していない。
- 本来は自由に入れて話したり出来るといいと思うが、小学校の保護者からの需要が多く予約が一杯になっており、本校の場合、自由に出入りできるような場所にはなっていない。
- 子どもが昼休みには少し寄り添っていることはあるようだが、本校も予約で一杯な状況。
- 中学校では不登校をはじめ心の面でしんどい子がいる中で、今まで気軽に行けていた子が、自由に出入りする場所になることで、他の子も来やすくなり、逆にその子たちにプレッシャーを感じてしまうケースも出てくると思う。しっかり時間を区切ってスケジュール表に従ってやる方がよいのかなと思う。いつでも自由に開いているから行っていいよというのは、少し難しいかなと思う。
- 枚方市では「心の教室」みたいなやわらかい名称をつけているようだが、どんな形で運営しているのか。自由に出入りしているのか。

⇒区より

自由に出入りという意味ではなく、本来行くべき状況にある子が敷居が高いために相談に行けていないのではないかと、委員の方々は考えておられる。少しでも敷居を低くして、本来行くべき子が行けるような形を考えてもらえないかという趣旨。予約で一杯だというのであれば、そもそも論にはなるが。

- 本来、行けばいいのに行けない子は、担任が気配りしてスクールカウンセラーにつないでいるので、漏れている子はいないと思う。
- 名称は、例えば「こころの相談員」や「学校スクールカウンセラー」等、何か淀川区統一の呼称を付けてもらえれば、協力する。

⇒区より

担任の先生が気配りされている場面もあろうかと思う。先生や家族にも相談し難いケースがあって、その時にスクールカウンセラーに相談する場があるという認識が子どもたちにあれば、表示する必要はないと思う。しかし、委員の皆さんは、子どもたちにそうした認識が足りていないような印象をお持ちである。

- 10年以上前の「こころの相談員」という制度は、学校が外部の人に相談する発想が少なく定着しなかった。その後、スクールカウンセラーが学校に来るようになって、カウンセリングの効果が上がり、今に至っている。スクールカウンセラーは色々なケアの面で必要だと思う。保護者も少し困ったらスクー

ルカウンセラーに相談することが増えてきた。

○全体的な目でアドバイスをしてもらえるので、保護者にはスクールカウンセラーを使ってもらう方がよい。

⇒区より

小学校にも聞くが、中学校ではすでに知られていて予約で一杯ということなら、一度スクールカウンセラーを知っているかといったアンケートをとるのもいいかもしれない。

今まで中学校を拠点にしてきたが、淀川区では区役所で予算を増額して小学校にも巡回してもらっているので、小学校の相談枠に余裕があるかもしれない。呼称は考えさせていただくが、表札については保留させていただこうと思う。

議題2 スポーツイベント（ボッチャ等）に実施について

（区より説明）

- ・淀川区子ども教育会議で、「部活に入っている子どもは運動ができるが、そうでない子は運動をしていないといった二極化が進んでいるのではないか」「運動に親しめない子どもや体にハンディがあって運動がしづらい子どもたちのために何かできないか」といったご意見をいただいている。
- ・スポーツ出前講座のヒアリングで先生方からも「東京オリンピック・パラリンピックと絡めて何かイベントができれば良い」「障がい者スポーツと人権教育も兼ねて何かできないか」というご意見をいただいたので、実施したいと考えている。一日限りのイベントを検討しているが、開催時期としてどの時期がよいのか、ご意見をいただきたい。

（意見交換）

○障がいのある子が中心なのか。

⇒区より

広く来ていただければと考えている。特別支援学級の子どもたちにも、とても参加しやすい種目かなと思う。

○運動が苦手な子どもたちは競技が何であっても外に行くのは難しいので、先に学校で何か興味付けしてもらう方がよい。

○ボッチャやスリーアイズのことは、子どもたちは多分知らない。

○学校に「出前講座」という形で来てもらって学年単位で種目を紹介して、特別支援の子どもたちにも体験させてはどうか。

○オリンピックが終わってからのの方が盛り上がると思う。9月中旬から10月初旬は運動会があり難しいので、12月頃に各学校で選抜して大会をやれば盛り上がるのではないかな。

⇒区より

いずれにしても事前に種目を周知した方がいいということが理解できた。

○2月に市校長会の特別支援担当が主催する「ふれあいデー」がアミティ舞洲で開催される。様々な種目があるが、そこにボッチャが入っていれば面白いかもしれない。可能かどうかはわからないが、そこに淀川区のコーナーを作ってボッチャをやるのも一つの手だと思う。

⇒区より

ありがとうございます。後ほどでもよいので、ご意見があればいただきたい。

議題 4 分権型教育行政にかかる情報提供

【教育関係会議で出た意見について】

（区より説明）

- ・教育行政連絡会等でいただいたご意見は、教育委員会内部の各担当に共有し検討してもらっている。ご意見は伝え、是正するところは是正していることを情報提供させていただく。
- ・教育委員会事務局の運営方針（案）についての意見が各区から 40 個程度出ているが、淀川区からも 8 個ほど出させてもらっている。

【淀川区大志育成プロジェクト学習会について】

（区より説明）

- ・今年度、自尊心向上に向けての取組「淀川区大志育成プロジェクト学習会」として西中島小学校と十三中学校の 2 校で講師を招き、講師に対する報償金を区で負担させていただいている。トップアスリートなどを招聘したいとのご要望もあったので、次年度の予算では現行の講師謝礼単価 7,100 円から 11,400 円へ引き上げ、予算を増額して要求している。講師によっては別途相談に応じ区役所内で調整のうえ、この単価の枠を超えた形での認定も検討させていただきたい。来年度早々に通知を出すので、ぜひご活用いただきたい。

【学校協議会委員研修アンケート結果について】

（区より説明）

- ・2月4日に開催した学校協議会委員研修のアンケート結果について、情報提供させていただく。研修の場では、学校協議会は学校を責め立てる場ではなく、学校と一緒に学校を盛り立てていく場であること、また、単なる課題出しだけではなく、委員のみなさまにも何らかの形で学校に貢献していただきたいとお伝えしている。

【アンケートについて】

（区より説明）

- ・毎年実施している「分権型教育行政」による区内の教育行政に関するアンケートと市政改革に関するアンケートについて、ご協力をお願いしたい。分権型教育行政に関しては各地域の方や保護者向けに説明資料も添付し、アンケートを実施する予定。

議題 6 こどもサポートネットについて

（区より説明）

- ・こどもサポートネットは、すべての子どもたちの状況を把握し、支援につなげていくことを目的に、平成 30 年度から 7 区でモデル実施し、令和 2 年度 4 月から全区展開となり淀川区でも実施する。
- ・学校では、新たにスクリーニングシートを導入しスクリーニング会議Ⅰ・Ⅱにつなげていく。
- ・区役所は、4 月から区役所 2 階の子育て支援担当に、こどもサポート推進員 3 名と区担当 SSW 2 名を配置し体制を構築する。こどもサポート推進員は週 4 日勤務、区担当 SSW は週 3 日勤務となる。
- ・推進員や SSW が保健・福祉の制度につなげたり、家庭訪問させていただくが、先生方の協力なしでは訪問等もできないので、ご協力をよろしくお願いします。

(意見交換)

○スクリーニングシートについて、区からの指針というか統一基準というものを示してもらわないと困る。中学校下の小学校で様式や基準がバラバラだったりすると、せっかく作ったものが中学校に上がった瞬間無駄になってしまう恐れがある。せっかく作るのであれば、1回で終わるもの＝基準にしてほしい。もう作っていかないと間に合わないので、基準を示してほしい。

⇒区より

基準については、教育委員会から一定の基準ということで基準例が示されていると思う。

○例では、幅がありすぎる。その幅の中で勝手に学校が判断して変えたりすれば、進学や転校の度にまた一から作り直しになってしまう。

○区役所から一斉に説明会なりで一定の方向性というか、具体的なものについて示していただければ、小学校からの内容についても全部体裁が整った状態のものがもらえと思うので非常にありがたい。

○学校としては、今すぐにでも動き出していきたいところだが、先ほどの説明を聞いていると4月に入ってからという感じだったので、出来れば年度末までに詳細を詰めるというかそういう時間を作ってもらいたい。

○スクリーニングシートは、生活保護の受給状況や就学援助、寡婦・寡夫等、区役所が埋められること以外の残りを学校で調べて作成するほうが効率的でありたい。出来るだけみんなの力を合わせて一つのシートを作っていくという風にしないと難しい。

⇒区より

個人情報については、こどもサポートネットとして収集した情報を学校と共有することは問題ないと思うが、生活保護受給等のために収集された情報を学校に渡すことは、個人情報の保護上目的外での利用になるので出来ない。

○区によって、スクリーニングシート枠内の項目を自由に変えていると思うが、その項目の原案を区で出していくようなことは、現時点でどう考えているのか。

○例えば、とある小学校で言い方を変えたことで、中学校校下の小学校のシートが異なり、それを合わせにいくという労力が必要になる。基準例でいくなら、基準例でいくということを区役所から発信していくべきじゃないかと市の校長会でも意見が出ていた。区役所から発信してくれるのか。

⇒区より

今のところは基準例から始めてはどうかと考えていた。モデル区にどのような形で各学校に周知していたのか確認する。

○他区では区役所が主導で各校がカスタマイズへの意見を集約して調整し、最終的にこれでいってくださいう風にしてもらったから混乱はなかった。基本スタイルで始めると区役所が思っている、同じスタンスでやらなければ各校でカスタマイズされて上がってきてからでは遅いので、淀川区では基本スタイルでいきますと発信していただいた方がありがたい。

⇒区より

了解した。

○今後、年度末まで動かれることはないのか。4月になると新入生のいろんな情報が入ってくるのですぐにでも動き始めたい。基準があれば新入生に対しても動けるし、2年生、3年生については今までの関わりの中で把握しているので、他の業務量を減らしながら、年度末までに在校生の入力をするとは思っている。本校としては年度末までに動きがあることを期待している。

○スクリーニング会議Ⅱはスクールカウンセラーや外部から来てもらうことになるが、スクリーニング

会議Ⅱの開催の日程調整は学校がするものか。

⇒区より

4月に職員が配置されれば、学校のご都合を伺い開催日の調整をさせていただこうと思っている。

○区役所からオファーがあるということでよいか。

⇒区より

調整させていただく。